

ボート部の思い出と後輩に向けて

56期 塚本涼太

現役生の皆様はじめまして、56期の塚本涼太と申します。引退してから歓迎会・納会の集まりには毎回参加してしますが、毎回私の年齢と近い方々とばかり会話をしているため、誰だ?と思われるでしょう。今後注意いたします。話の内容といたしましては、自己紹介とボートの思い出を書いていると思います。私は国語が大変苦手で、中学生の頃は国語の教師に「君の文章は中身が無いんだよ!!」なんてキレながら言われたことがあったため、もしかすると、今回の文章も中身の無い文をただつらつらと書いているかもしれません。ご了承を..



自己紹介

2021年に理工学部電気電子情報通信工学科を卒業し、今は同大学院(電気電子情報通信工専攻)にいます。ですが、連携大学院方式というものを利用しており、学部4年次から今日まで外部研究機関のあるつくば市にいます。4年次からコロナウイルスの影響で大学院の講義が全てオンラインで受講することが出来たため、4年次から大学にはほとんど通っておりません。(大学には実験装置がないため大学に行く必要がないのです。)このため、滅多に大学にいかないため現役ボート部の方とは会うのは皆無だなあと考えていたのですが、何故か大学に行く度に57期の小倉君にのみ一号館の階段で毎回会います..

研究内容を軽く紹介いたしますと、半導体を研究しています。半導体といっても、素材に「ダイヤモンド」を使用しており、ダイヤモンド半導体特有の性質に関しての評価、解析等を行っております。私の所属している研究室は、毎年2名しか学生を募集しない&大学で研究ができないため(大学に実験装置がない)か、学生がなかなか入ってきません。現在この研究室にいるのは私と同期1名の計2名だけであり、来年私たちが卒業すると学生がいなくなってしまう。興味を持ってくださった私と同学科の方、是非研究室公開している際には見学に行ってみてください。多くの専門家の方々と研究を共にし、大学では味わう事の出来ない多くの経験を積むことが出来ます。受け持ってくださいの客員教授の方も大学ボート部出身のためボートの話に花を咲かせることが出来ますよ。就職先は無事に決まり、非鉄金属業界に進みます。自己紹介はこのぐらいにしてボート部の思い出について記述していこうと思います!

1. なぜ理工ボート部に入部したか？

私自身が苦手としていることに敢えて挑戦したかったからです。

私は運動が大の苦手です（今も）。過去を振り返ると、まず小学校6年間習い事で水泳をやっておりましたが、なかなか上達せずどんどん仲間から置いていかれ大変悔しい思いをしました。

（当時一年に数回昇級試験があり、級が上がるにつれて水泳帽子の色が変わるのですが、私だけ何年も同じ色だったことがありました。）中学校に進んでからは、なるべくきつい部活は辞めようと思い卓球部に入部しました。やはり運動神経が悪いせいなかなか上達せず、上の代が退部してからほぼ一年以上、常に団体戦の補欠で試合にはほとんど出ていませんでした。高校に入学してからは学業に専念しようと、写真部に入りましたが活動がほぼ無い事、たまに学園祭などの学校イベントがあると皆が楽しむ様子を撮ってほしいと言われ撮ることが多く「なんか違うな」と思い退屈でした。高校2年次の頃から、このまま高校生活を終わらせるのはもったいないなと思い、友人のすすめもあり学園祭の執行部に入りました。この執行部は学生のみで企画（体育祭の場合新競技）を一から考えることや、学園祭当日の運営を行う団体です。

これまで、一から企画をすることも無ければ、人前に立つことが苦手であったため人前で指示をすることもしたことがありませんでした。指示が上手く取れず失敗が多く、人前での発表も多く大変でしたが、考えた企画で皆の笑顔を見ることができ、達成感を味わう事が出来ました。

大学受験が終わり、「自分が苦手なことに挑戦し達成感を味わう事」が好きになっていたため、大学ではもっと、苦手なことに挑戦しようと思いました。このためまず初めに、苦手である運動系の部活に挑戦しようとしていたところ、いままで経験したことのない目新しいスポーツであった理工ボート部に興味を持ちました。入学前に、どんな方達が所属しているのだろうかになり、ネットで調べてしたところ、YouTubeに53,54,55期の先輩方のOBOG向け自己紹介動画を見て、全員優しい感じがでていたのでここを見に行こうと決めました。（もしもこの時怖くて厳つそうな先輩が映っていたら間違いなく見学に行かなかったと思います笑。今現在この動画は非公開となり外部の人は残念ながら見る事が出来ません。）

4月の新入生乗艇会には参加できず別日で平日18時以降の乗艇に参加しました。この時初めて「ボート」に乗り、54期の関先輩とダブルに乗ったのですが、あまりにも船をぐらつかせてしまったり、オールが水の中に入らず空振ったりでなかなか上手く漕ぐことが出来ず、その度に「ごめんなさい、ごめんなさい」と繰り返して言っていた記憶があります。

夜は皆様ご存じの通り、コースの周りの常夜灯がつくのですが、それらがまるで夜の滑走路を走っているようでありとても美しく、当時こんなにもきついスポーツであることを知らなかった私は「こんな景色でボートを漕げるなんて最高ではないか！！」と感動しました。さらに、モーターなどに頼らず自分でかけた力がそのまま原動力となりことに感動し、その後、個性豊かな同期、先輩方と出会って事もあり入部を決断しました。



写真1 夜の戸田漕艇場

2. ボートの思い出

(1) 2017年の東日本新人戦

初めて出た東日本大会がとても鮮明に覚えています。本大会は一年生のデビュー戦であり、僕が在籍していた当時は毎年この大会に向けて夏合宿終了後から各々、一生懸命に練習していました。大会を何で出るか聞かれた際、私はシングルスカルやダブルスカルよりも、クォードが好きであったため(チームで一つのことをやり遂げることが好きであるためです。引退まで、ほぼクォードやフォアばかり乗っていました。)迷わずクォードを選びました。



**写真2 人生2度目のダブルスカルを相模湖で経験しました。沈のことばかり考えて漕いでいました。
ストローク：私、バウ：55期岡本先輩**

クルーメンバーであった55期の今井先輩以外、全員一年生であり練習についていくのにやっとでした。全員のオールが同じタイミングで水の中に入っていない、ボートのバランスが保てておらず漕ぎづらい等など問題が山積みだった記憶があります。失敗が続くと士気が一気に下がってコックス以外練習中に誰も話さなくなり、これに比例してか雰囲気が悪くなり、その結果失敗がさらに起こる傾向が多々ありました。この雰囲気を打破するために何かできないかと思い、なんでもよいから声を出して盛り上げていこうと思い声を出し始めました。これが効果的であったのか、少しずつ場が和んでいった気がします。(間違えていたらすみません)

平日は各々大学の講義が5限,6限目まで入っている&バイトがあるで、なかなか全員揃っての乗艇が出来ませんでした。バンチャに撮って頂いた動画を練習後必ず全員で視聴し失敗の原因を特定する機会を設けること、休憩中もクルーでコミュニケーションをとっていた(ボート以外の話で盛り上がるのがほとんど)こともありチームの結束力が固まっていきました。

その後ボートのバランスが改善、オール動きがそろい始めたことにより、タイムが良くなり結果として大会では3位に入賞を果たすことが出来ました。



写真3 クォードメンバー（左から55期今井先輩、56期谷君、私、杉本君、加藤君）

その後、ほぼ同じメンバー（56期杉本君から56期宮本君に変更）でお花見レガッタに舵手付きフォアに出場し、中大理工ボート部が持っていた記録を10秒近く更新する快挙を成し遂げることが出来ました。

(2)夏合宿

1,2年次の合宿は岐阜県の川辺漕艇所で行いました。漕艇場まで大学からレンタカーで先輩が車を運転して頂き向かいました。当時私は運転免許を持っていなかったため、車の中では同期&後輩と騒ぐか寝るかの二択で、運転して頂いた先輩方には大変ご迷惑おかけしました。今は、免許を手に入れましたので一緒にドライビングに行きたいですね。合宿の目的には一年生の技術強化でもあったため、主に私たちはクワードに乗って後ろから多くの先輩方に漕ぎ方を見て頂くことで再度自分の課題を見つけることが出来ました。



写真4 合宿での一年ダブルスカル（ストローク：私、バウ：谷君）

既に引退している先輩方にも来ていただき、親睦を深めることが出来ました。

(3)新入生歓迎 PV

毎年2月あたりから新入生用にPVの動画を作っているのですが、2018~2020年度用PVの作成にありがたいことに携わることが出来ました。今拝見しますと「ありゃ」と思うことはありますが、個人的によくできているのではないかと考えています。再生回数を見ますと他大学ボート部様と比べ明らかに負けていますのでいつか数千回以上行くようなPVを期待しております。

以上記載したことは私が1年次に経験したことです。他にも思い出としてはたくさんあります。(例えば、二年次は理工系レガッタでのダブルスカル&インカレのックス。三年次は会計就任などなど)また数十年後にOBOG会季刊誌を書いて！と言われた際に、ネタ切れになってしまうといけないので今回はここまでとします。

3. 後輩に向けて

後輩に向けて私が伝えたいことは二つあります。

まず一つ目に、54期の萩野先輩の季刊誌に記載の通りリフレッシュ方法をうまく見つけて下さい。ボートも4年次からの研究も滅多に成功せず、失敗ばかりで心が折れかける事がとても多いと思います。そんな時は是非同期または先輩後輩を誘って出かけたり、または自分の趣味を広げてみたりしてください。最近の私のリフレッシュ方法としましては、他大学の大学院に行き私と同じように連携大学院方式で、つくば市で研究している同期の加藤君とたまにご飯に行ったり、風呂に行ったりしています。同期は大学院に進んでいる人もいれば就職している人もいるため気軽に会うことが出来ずとても悲しいです。3月の頭に修論提出があり、4月の入社まで恐らく時間があると思うので、旅行などしたいですね。個人的な趣味は、大学の頃から続けている映画館での映画鑑賞ですね。お金のない私にとって大学生料金1500円払うのは心が痛いので、少しでも安くなるように、映画館のメンバーシップに登録して安く見たり(登録して何回か映画をみると一回無料で見ることの出来る当特典があります!）、水曜日に見に行っても1200円で見るとかロードバイクを凝らしています。自分の趣味を広げるということで、ここ2年程ロードバイクについて調べています。コロナ化の際にYouTubeでアニメ「弱虫ペダル」を見て、ロードバイクに乗りたいと思い、お店に行ったりネットで調べているのですが、安くても数万円あり、私にとってとてつもなく高すぎてなかなか手が届きません。OBOGの皆様、もし今ロードバイクを漕いでいるとかロードバイクを持っていていない部品があるとかございましたらご連絡いただけますと幸いです。

二つ目は、私たちの活動理念である「超二流」を忘れないで下さい。現在の私たちの部活の立ち位置は「体育会」ではありません。よって、学生生活全てをボートに捧ぐ「一流」の部活ではありません。だからといって、お遊び半分で行うような「二流」の部活でもありません。日々の練習に本気で打ち込み、そしてボート競技を楽しむ「超二流」を目指して活動して下さい。



写真5 部内スキー旅行（コロナ前まで一年生が企画をし、春休み初めにスキー旅行に行っていました。良いリフレッシュになったのではないかと思います。）

最後に

本季刊誌を執筆後に、他の先輩方の内容を拝見したのですが、私のはかなり薄っぺらな文章になってしまい後悔しております。ですが、現在研究が多忙を極め直す余裕がないため恥ずかしながらこの内容で提出します。未来の私へ、次頼まれた際はもう少し濃い内容で書いてくれ！長々と書いてきましたが、この文章が少しでも現役生に役に立つことが出来れば大変嬉しい限りです。もしも、たまたまこの季刊誌を見つけて読んでしまった理工ボート部所属するか悩んでいる方がおりましたら、是非いつでも見学にいらしてください。運動の苦手な私でも楽しく活動することが出来ました。

以上で、文章を締めさせていただきます。

理工ボート部に幸あれ！！

以上